

マタニティライフにますますの彩りを!!



みの~れマタニティコンサート実行委員

白土礼子さん

「みの~れは子どもと一緒に楽しめる場所です」と笑顔で話す白土さん。

みの~れと共に生活するスタイル

Minole Life

のすすめ

No.80

先日の大雪でみの~れ前の芝生の広場は、そりや電遊びをする家族連れでにぎわっていました。それと同時に、春の訪れを知らせる福寿草が咲きはじまりました。福寿草は光や温度に敏感で、昼間でも日差しがささきられると花がしほみ、また陽があたると開くそうですよ。今回は「みの~れマタニティコンサート」の実行委員で羽鳥地区にお住いの白土礼子さんを取材します。

月に一度の 会議が楽しい!!

白土さんとみの~れの関わりは、みの~れマタニティコンサートに招待されたことがきっかけだった。「コンサートなどにはあまり来たことがなかったのでも楽しかったのを覚えています。それが妊娠中ということも特に印象的でしたね。そして昨年5月頃、マタニティコンサートに参加したというつながりで、マタニティコンサート実行委員のお誘いを受けました」と話す白土さん。みの~れマタニティコンサートは、以前はみの~れ職員が企画運営する事業だったが、今年度から市民の方々と共に事業を作る実行委員会制に変わったところだった。白土さんは、マタニティコンサート実行委員会二期生となる。

「実行委員に応募し参加してみて、正直なところ最初は全然わからないことばかり。何をどうしたらいいのか迷っている状態でした。何をしにきているのかもわからなくなりました。しかも最初は知り合いが一人もいなかったのでも打ち解けられなくて、ちょっと困っていました」と苦笑する白土さん。ただ、

だんだんと慣れてくると楽しく会議ができるようになっていきました。途中から中学校時代からの友達を誘って委員をやっているのでもっとも心強いです。私は家と会社の往復で、夜に出かけるということがなかったのでも月一回の実行委員の集まりがとても楽しみにになりましたね。気になるのは子どもたちなのですが、この会議は自分の子どもたち二人も連れて参加できるので助かっています。他の実行委員さんのお子さんが遊んでくれるので、子ども達にとっても楽しみになっていくみたい。お姉ちゃんお兄ちゃんが好きなんだよね?」と話す白土さんの横で、「うん」と二人のお子さんもはにかみ笑顔で答えてくれた。マタニティコンサート実行委員会では、みの~れ初の試みとして、更生保護女性会のみなさまのご協力のもと託児付き会議を行っている。白土さんに休日の過ごし方を聞いたところ、「お仕事に出ている分、休みの日はほとんどが家事で終わってしまふのがほとんどですね。ただ、今は時間を作ってリビングに置くベンチをてづくりしています。テーブルにあつてベンチを作るべく、奮闘中ですね。他にもいろいろ手作りするのが大好きなんですけど、あまり出来ないですね。もしこれから時間ができたら、いっぱい

(藤田佐知子)